

科目		動物内科看護学実習		
担当講師 吉川 文香 実務経験有 統一認定動物看護師免許 専門学校卒業後動物病院に動物看護師として20年従事				
開講年次		授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科 1年次前後期		講義	必修	90
授業目標 犬や猫の日常敵な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学に学んだ知識の実践力を修得する。				
授業概要 基礎で習得した知識を実践とし、診療現場に必要な観察力および看護法に関する基本的手技を身につける。また手順や要領を考えた行動から問題解決能力や看護実践能力を身につける。診療補助、輸液管理、シリンジの扱い、衛生管理、入院管理、調剤、グルーミングについて学ぶ。				
成績評価の方法 評価の基準は実習レポートと筆記試験による。また本科目受験には出席率が3分の2以上であることが必要。試験は80～100点がA評価、70～79がB評価、60～69までをC評価とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし評価はCとなる。				
教材 動物看護コアテキスト5巻 (P70～127 ファームプレス) 動物看護学実習テキスト (P60～104 インターズー)				
授業計画 毎週月曜日 3限目(前期のみ) 13:20～14:50、4限目(前後期) 15:00～16:30				
回	テーマ	授業内容		
1	動物看護 概論	動物看護とは何か		
2	〃 目的、意義	動物看護師の役割、実習の心構え		
3	診療補助 ①概論	イヌ・ネコの扱いを知る		
4	〃 ②保定法	基本的な保定法を知り身につける		
5	〃 ③バイタルチェック、身体検査	バイタルチェックと身体検査		
6	〃 ④全身検査、	〃		
7	〃 ⑤実習	適切な保定法でバイタルチェックを行う		
8	投与方法	さまざまな投与方法を知る		
9	注射法①	各種注射法、目的、方法		
10	〃 ②	シリンジ、注射針の正しい扱い		
11	〃 ③	実習		
12	予備			
13	受付業務①	受付と電話対応、コミュニケーション		
14	〃 ②	カルテと問診		
15	子犬・子猫の全身評価			
16	衛生管理、入院管理	汚染を防ぐ入院動物の扱い		
17	輸液管理①	輸液とは？手技		
18	〃 ②	準備、備品ラインの接続、ポンプについて		
19	調剤①	医薬品の取り扱い		
20	〃 ②	薬用量の計算、調剤、分包		
21	創傷管理と包帯法	〃		
22	外科手術の看護①	看護の流れ、麻酔、手術室看護		
23	〃 ②	〃		
24	救命救急処置	目的と看護師の役割		
25	実習	〃		
26	〃	〃		
27	まとめと確認テスト			
28	まとめと確認テスト			